

カルルス山南峰（1070m）登頂

平成 31（2019）年 3 月 16 日（土）

CI：山岸、山スキー（A班L：藤木晴、メンバー澤田、渡邊、笹山、谷、B班L：西田、メンバー酒井、相馬、佐藤、八重樫、門馬）スノーシューL：近藤、SL：藤木た、メンバー西田昌、荒谷、川村、及川、津川）
合計 19 人
行程：7 時 50 分登山開始～11：25 頂上～13：30 下山終了。登り 3 時間 35 分、下り 2 時間。累計高度 756 m。

7 時 30 分にカルルス・サンライバスキー場に全員が遅れることなく集合。身支度をして W 氏の指導で体をほぐした。

7 時 50 分に山スキー班が先頭にスノーシュー班が続いて登り始めた。

前日から早朝にかけて久しぶりに降った雪が、前日までのトレースを消している。要所で目指す方向に地形図とコンパスで角度を合わせる。



過去に数度登っている南峰だが、昨年は稜線鞍部の 983 地点で撤退した。今日のスノーシュー班は最終点を 983m 地点まで頑張ろうと、山スキー班はなんと少しでも登頂を果たそうとリーダーの言葉は強かった。



先頭を交代しながら前を進むのはいつものパターン。完全なホワイトアウトでないが、

前がよく見えない。

スノーシュー班は予定していた 983m 手前の 913m 地点でツエルトを張って早めのランチタイムとした。

山スキー班は、983m 地点から一気に頂上を目指し、11 時 25 分に頂上。



記念撮影を済ませ、スノーシュー班の待ち地点まで下りる。



山スキーの下山は快調だが途中でハプニングが起きた。

M さんのスキー板が交互になり、態勢を立て直したときに自分の体を抱え込むように前面に出したはいいが、ヘルメットを雪面の下に潜らせながら下りてくるではないか。下で見ていたメンバーは「おー、なんだ?」。啞然、茫然である。山スキー歴の長いメンバーもこんな下り方をしたのは見たことがない。珍しい光景であった。名付けて「ヘルメット滑走」。本人いわく「恥ずかしい」。首のケガがなく幸いであった。

文章での表現が上手くできず、もっと詳しいことを知りたい人は本人にお聞きください。

ケガ無く終了できました。チーフリーダー、リーダー、メンバーのみなさん、ありがとうございました。（記録・報告 澤田）